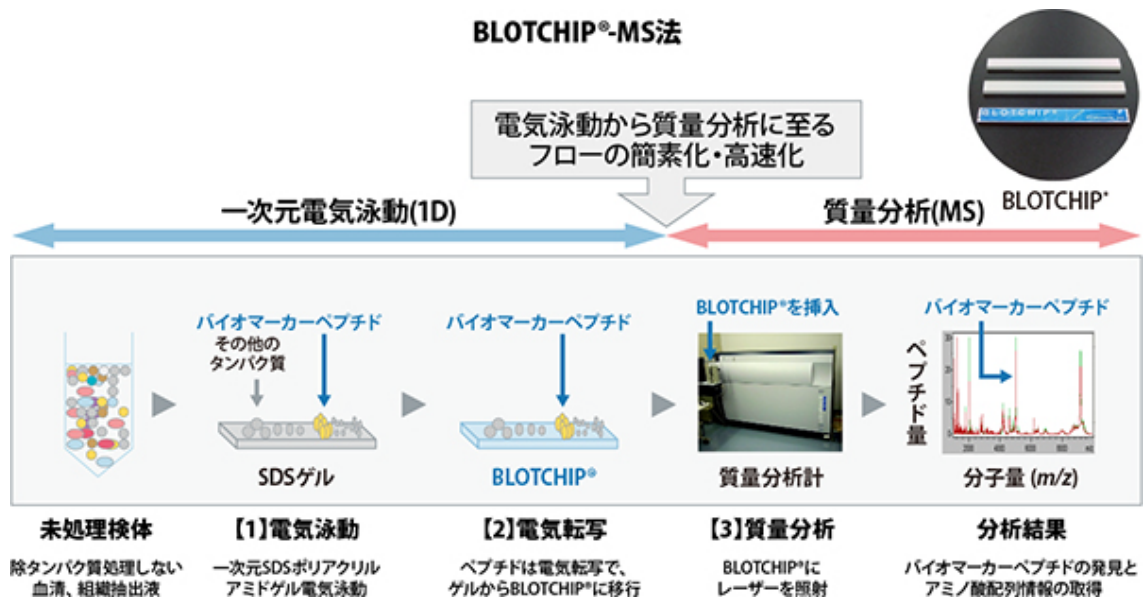


参考資料【用語の説明】

1) ペプチド解析技術(BLOTCHIP[®]-MS法):

従来のペプチド解析法では質量分析の前に、測定を妨害する除タンパク質操作が必要でした。しかし除タンパク質操作によって、検体中のペプチドの種類と量が大きく変動するため、解析結果の信頼性を損なうという重大な問題を残しました。BLOTCHIP[®]-MS法では、検体中のペプチドを電気泳動法によってタンパク質から完全に引き離した後、BLOTCHIP[®]へ電気転写し、質量分析計で測定します。その結果、再現性と精度の高いペプチド解析技術が確立されました。



BLOTCHIP[®]-MS法によって発見されるペプチドは、広範囲な疾患に対応した予知診断、早期診断、個別化医療のコンパニオン診断に必要なバイオマーカーとして、診断用医薬品並びに医療機器の開発への寄与が期待されます。

2) システイン化トランスサイレチン(CysTTR):

トランスサイレチン(TTR)は血液の中でビタミンやホルモンを運ぶ重要な役割を果たすタンパク質です。さらにTTRの変化体であるシステイン化トランスサイレチン(CysTTR)は酸化ストレス(体のサビ)の鋭敏な指標であることが知られています。



ヒトおよび動物試験から、血中のCysTTRの増加が糖尿病リスクの増加に比例することが証明されました。『ProtoKey[®] 糖尿病リスク検査キット』によって、CysTTRの大量、高速測定が可能になり、今後糖尿病を初めとして、様々な疾患リスクを計るためのバイオマーカーとして注目されます。